

平成 29 年 5 月 10 日  
経済経営学類 小山良太ゼミナール  
代表 菊地悠太

福島大学経済経営学類 小山良太ゼミナール  
おかわり農園プロジェクト

## おかわり農園 4 年目の始動と田植えのお知らせ

今年で 4 年目になる経済経営学類の小山良太ゼミナールの“おかわり農園プロジェクト”による田植えを 5 月 16 日（火）に実施する予定です。お世話になっている地域の農家の方に協力してもらい、当日は昔ながらの手植えと現代的な田植機による田植えの両方に挑戦する予定です。

なお、田植えの時間や場所などにつきましては、別紙 1 のチラシを、今年度のプロジェクト全体につきましては、別紙 2 の企画書をそれぞれご覧ください。

昨年もたくさんの方に来ていただき、取材していただきました。今回もぜひよろしくお願ひします。

（お問い合わせ先）

福島大学経済経営学類教授 小山良太  
学生代表：小山良太ゼミナールゼミ長 菊地悠太  
電話番号：080-5749-9906（専用ダイヤル）  
024-504-2880（ふくしま未来食・農教育プログラム 当プロジェクト担当：服部）  
メー ル：r725@ipc.fukushima-u.ac.jp

別紙1

福島大学  
小山良太ゼミナール

# 田植祭

さなぶり

## ～早苗饗～

日時：5月16日（火）13:30～

場所：松川町圃場（福島市松川町伊藤前の付近）

＜福島大学より車で10分、福島松川スマートICより車で3分＞

今年も福島市松川町の農業生産法人「松川アグリ農産」の協力の下、米づくりに携わります。福島県産米のブランド力を向上させ、消費者から選ばれる米をつくるために、自ら農業を体験することで様々なノウハウを身につけます。



おかわり!!

早苗饗とは...

田植終了後に田の神を送る行事のこと。16日は、昨年収穫したおかわり米で作ったおにぎりを用意しています。



代表：福島大学経済経営学類教授

小山良太

学生代表：小山良太ゼミナールゼミ長

菊地悠太

連絡先：080-5749-9906(専用ダイヤル)

024-548-2880(ふくしま未来食・農教育プログラム 担当：服部・北村)

メール：[r725@ipc.fukushima-u.ac.jp](mailto:r725@ipc.fukushima-u.ac.jp)

# 4年目の **おかわり** 農園

～米の価値向上のために～



## <今年度の活動>

- ①米の農業実習
- ②第3回ふくしま・かわまた米コンテストの開催
- ③米の新しい売り方の検討（日本酒）

## <福島県の農業の現状>

震災から6年経った今、福島県の野菜や果物、特にきゅうりやトマト、桃、りんごは震災直後から売上が回復しているが、米や畜産物は回復が見込まれていない。もとより福島県産米の食味は高く評価されてきたが、風評被害によってブランド力が損なわれている。福島県産米の売り方も震災以前とは大きく異なる。値段を下げて、あるいは産地が伏せられたブレンド米として販売されたり、業務用米として大量販売されるという現状である。業務用米としての出荷の割合は震災以前の1割から4割と増え、外食産業などのニーズには応えていると言える。しかしそれは、福島県産米は安くて美味しい米として売られているだけであり、本当に美味しく、価値のある米として売られているとは言い難い。

## <事業目的>

こうした現状を受けて、今年で4年目を迎えるおかわり農園は先述した活動を計画した。

米の農業実習は、学生自らが、活動のベースになる体験・知識として、米の特徴や生産技術を学び、生産から販売までの過程を体験していく。また、安全性を確保するための、放射性物質の吸収抑制対策や米の全量全袋検査についても学ぶ。米の農業実習を通して、学生がより広く福島県産米の安全性を再確認し、発信できるようにするためである。

ふくしま・かわまた米コンテストは、審査員と一般の方の投票で本当に美味しいお米を選ぶことによって、生産者の意欲向上、ブランド力の回復と強化、生産者と消費者の交流を図っていくことを目的としている。このイベントは一昨年より福島市、川俣町、地元JAと私たちが実行委員会を立ち上げ開催している。

新しい米の売り方の検討（日本酒）は、米の価値向上の可能性を探る一環として計画している。福島県産米の価値を上げるには、さらなる付加価値が必要であり、私たちは加工で付加価値をつける必要があると考えた。そこで、米を加工する日本酒に着目した。どのような内容で進めていくかはまだ構想段階であるが、マーケティング調査などを行い、販売までの過程を学んでいく。

## <今後のスケジュール>

- ・5月16日 田植え、早苗饗（さなぶり）
- ・10月 稲刈り
- ・11月 ふくしま・かわまた米コンテスト（予定）

## <小山良太ゼミナールメンバー>

ゼミ長 菊地 悠太  
 副ゼミ長 合田 航平  
 小野崎 桃子  
 黒沼 尚太郎  
 佐々木 颯  
 篠崎 理奈  
 星 みづき  
 八巻 練  
 渡邊 晃太



2016年の稲刈りの様子



2016年の米コンテストの様子

私たちの地元には自慢すべき 美味しいお米があるんです！

おかわり農園よ！

第2回 ふくしまかわまた

# 米コンテスト

こめ 最終選考

入場無料

1位を当てて金賞米GET!!

??どんなイベント??

機械による1次審査を通過した福島市・川俣町の上位10名のお米の中から、今回の審査員による最終審査で、1番美味しいお米を決定します！

地元のお米を知ろう

どんな人がお米を作っているのか、本当に福島のお米が安全なのか、ぜひお来場してお確かめください。私たちは地元の方こそ地元のお米を食べてもらいたいという思いで、お米づくりに取り組んでいます。

ご来場された皆さんには、上位入賞米を試食していただき予想投票をしていただきます。見事予想を的中させた方の中から抽選で金賞米をプレゼント!!

参加者150名様

卵かけごはん 試食のチャンス!!

2016

11/23 (祝日)

開催時間 13:30~16:00

★タイムスケジュール★

- 12:00~卵かけごはん試食開始 (A.O.Z多目的ホール前にて)
- 12:30~入場開始
- 13:30~コンテスト開会式
- 14:00~審査員/一般参加者試食開始
- 14:30~出場者と審査員の方にインタビュー
- 15:00~結果発表/表彰式
- 15:20~予想投票結果発表
- 15:30~閉会式

MAX 4階 ふくしま A.O.Z

福島市農業振興室

TEL. 024-525-3726

主催：ふくしま・かわまた米コンテスト実行委員会  
 後援：福島県農政総合センター/福島大学ふくしま未来食・農教育プログラム  
 協賛：福島大学おかわり農園  
 URL: <https://www.facebook.com/fukushimakawamatakomikon> 検索 @fukushimakawamatakomikon

2016年の米コンテストのチラシ

代 表：福島大学経済経営学類 小山良太  
 学生代表：小山良太ゼミナール長 菊地悠太  
 連絡先：080-5749-9906（専用ダイヤル）

：024-548-2880（ふくしま未来食・農教育プログラム 担当：服部、北村）

メー ル：r725@ipc.fukushima-u.ac.jp